

北波多第二保育園のお友達と一緒に

子育てサロ

冬の感染症と予防対策

新潟県上越市 塚田こども医院 院長 塚田次郎

第656回『小麦粉粘土であそぼう』

12月13日(火) 午前10時00分より

会場 北波多第二保育園

第657回『風船であそぼう』

12月20日(火) 午前10時00分より

会場 北波多第二保育園

第658回『楽器を作ろう』

12月27日(火) 午前10時00分より

会場 北波多第二保育園

参加費は無料、道具等は保育園で用意します。

必ずご予約をさせていただきようお願いします。

詳しいことは北波多第二保育園までお尋ねください。

ひまわり広場

北波多第二保育園では、子育て支援の一環として『ひまわり広場』を祝日・土曜日・日曜日を除き毎日設置し、子育てステーションを開設。保育園のお友達と仲良く遊ぶ場を午前10時から午後3時まで提供しています。ご利用される場合は、前日までにご予約して頂き、必ず保護者同伴でおいで下さい。

〒847-1201

唐津市北波多徳須恵365-1
社会福祉法人常安会
北波多第二保育園



子育てで困ったときは遠慮なく
相談してください。

※新型コロナウイルス感染拡大予防により、変更・中止になる場合があります。必ず事前にお電話をお願いします。



子どもと感染症

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の流行が始まってから約3年がたち、子どもたちを取り巻く感染症の様相はがらりとかわりました。マスク着用などの个人防护をしっかりと行い、集団生活に多大な注意を払ってきたおかげで、インフルエンザの流行が起きず、ほかの感染症の流行もずいぶんと少なくなりました。

しかし、子どもたちの感染症に対する免疫力が低下するという負の側面もあります。何年も流行がないと、免疫を持たない子どもたちが増え、次に流行した時に、大規模な流行になることもあります。年齢の高い子どもがかかり、重症化することも懸念されます。

それに加えて、やはり新型コロナの流行が今後どうなるか、予断を許しません。今年1月からの第6波以降、子どもたちの感染が増え、7月からの第7波では、さらに増加しました。子どもは軽症といわれていましたが、死亡者が出ていることから、やはり注意すべき感染症なのです。

感染症への対応の仕方は年齢によって違いますが、マスク、手洗いなどの基本的な感染予防策を引き続き実施してください。それが新型コロナだけではなく、インフルエンザなどの、ほかの感染症の予防にもつながります。

インフルエンザ

2年間まったく流行がなかったインフルエンザですが、地球上から消滅したわけではありません。南半球では今年、大きな流行が起きました。日本を含む北半球でも、次のシーズンの流行発生が心配されています。

インフルエンザには有効なワクチンがあります。ここ数年、流行がなかった分、ワクチンで免疫をつくっておく必要があります。子どもだけではなく、一緒にいるおとなの方も受けるようにしてください。

ウイルス性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎は、夏場でも少しずつ発生が見られていますが、やはり冬場に大きな流行になりやすい感染症です。嘔吐物や下痢便には、ウイルスが多量に混入しています。周囲に感染を広げないために、嘔吐物や便の始末をきちんと行うことが必要です。また、アルコール消毒では不十分であり、石けんを使った手洗いをていねいに行ってください。

日頃からの健康な体づくりを

コロナ禍により、子どもたちの健康状態が悪化しているのではないかと心配しています。特に体力の低下、肥満の増加などが気になります。

感染症にかかりにくくするためにも、またかかった時に軽く済ませるためにも、日頃から健康な体づくりが大切です。

生活リズムをととのえ、栄養バランスのよい食事をとり、十分な睡眠時間を確保するようにしましょう。また、外遊びや適度な運動を通して、体力づくりも心がけてください。

感染症対策の基本は「かからないようにする」「かかっても軽く済ませるようにする」として「かかっても広げないようにする」ということです。

子どもたちと一緒に親御さんも積極的に健康づくりに取り組んでください。おとなの方にも、きっと役に立つはずです。